プレスリリース

2024 年 10 月 17 日

日本セキュリティオペレーション協議会 (ISOG-J)

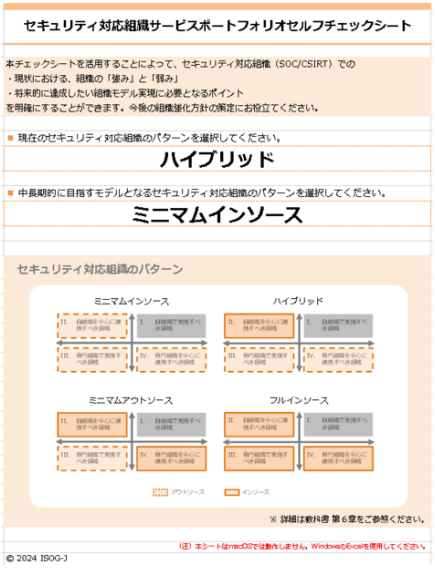
NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)

セキュリティ対応組織の教科書 第 3.2 版 公開のお知らせ

日本セキュリティオペレーション協議会（ISOG-J）および NPO 日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）は、セキュリティ対応組織の教科書第 3.2 版の公開を発表いたします。本書は、セキュリティ対応組織の構築と運営に関する包括的なガイドラインを提供し、最新の ITU-T 勧告 X.1060 に準拠しています。

主な新機能と改訂点

1. エグゼクティブサマリの追加
  - 本書には、新たにエグゼクティブサマリが追加され、要点を迅速に把握できるようになりました。これにより、経営層や意思決定者が迅速に情報を取得し、適切な判断を下すためのサポートを提供します。
2. セルフアセスメントシートの刷新
  - セキュリティ対応組織の教科書第 2.1 版からセルフアセスメントシートが刷新され、より実践的で具体的な評価が可能となりました。これにより、組織は自らのセキュリティ対応能力を客観的に評価し、改善点を明確にすることができます。



3. 64 のサービスの着手事例の紹介
 - 本書では、64 のサービスの着手事例が新たに紹介されています。これらの事例は、実際の運用に基づいた具体的なアプローチを示しており、他の組織が参考にできる貴重な情報を提供します。
4. 実例の追記
 - 多数の実例が追記され、現実のセキュリティ対応の具体的な手法や成功事例が豊富に盛り込まれています。これにより、読者は実際の運用に役立つ知識を得ることができます。
5. ITU-T 勧告 X.1060 に準拠
 - セキュリティ対応組織の教科書第 3.2 版は、ITU-T 勧告 X.1060 に準拠しており、グローバルなセキュリティ基準に対応しています。これにより、国際的な信頼性と互換性を確保しています。

公開の背景

セキュリティ対応組織の教科書は、2016 年の初版公開以来、セキュリティ分野における標準的なガイドラインとして広く認知されています。第 2.1 版は ITU-T 勧告 X.1060 に多くの内容が取り込まれています。今回の第 3.2 版では、最新のセキュリティ動向や技術進歩を反映し、より実践的で包括的な内容に改訂されました。

ISOG-J WG6 は今後も議論を続け、日本だけではなく世界のセキュリティをリードするドキュメントの公開を続けます。

関連リンク先

1. 日本セキュリティオペレーション協議会（ISOG-J）ホームページ

   https://isog-j.org/

2. セキュリティ対応組織の教科書第 3 版リリースページ

   https://isog-j.org/output/2023/Textbook_soc-csirt_v3.html

3. ITU-T 勧告 X.1060 配布ページ

   https://www.itu.int/rec/T-REC-X.1060-202106-I/en

4. ITU-T X.1060 特設ページ

https://www.itu.int/en/ITU-T/studygroups/2022-2024/17/Pages/X1060.aspx

5. 一般社団法人情報通信技術委員会(TTC) JT-X1060 配布ページ

JT-X1060: X.1060 を日本語化し、TTC 標準として制定されたもの

https://www.ttc.or.jp/document_db/information/view_express_entity/1423

お問い合わせ先

日本セキュリティオペレーション協議会（ISOG-J）

NPO 日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）

Email: info@isog-j.org